

CUTTING PLOTTER

CG-60AR

CG-100AR

CG-130AR

お手入れのお願い

Care and Maintenance

本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

<https://japan.mimaki.com/>

D203642-10

Original instructions

目次

メンテナンス

1. メンテナンスに関するご注意	4
2. メンテナンス項目とタイミング	5
メンテナンスに必要な道具	5
3. メンテナンスの方法	6
カバー（外装）の清掃	6
Yバーレール面の清掃	7
グリットローラーの清掃	8
ピンチローラーの清掃	8
長期間使用しないときは	8
4. 消耗品の交換	9
カッターの交換	9
ピンチローラーの交換	9
ペンラインゴムの交換	10

メンテナンス

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるように、使用頻度に応じて定期的にお手入れをしてください。

メンテナンスに関する注意事項をよくお読みになってから、お手入れをしてください。

1. メンテナンスに関するご注意



- 定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧めします。また品質不良や事故を未然に防ぐために、本機の清掃や消耗品の交換をしてください。

⚠ 警告



- 定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまう。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。



- 本機の内部に液体が入らないようにしてください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。
- 塩素系の洗浄剤は使用しないでください。本機に錆が発生するおそれがあります。

2. メンテナンス項目とタイミング

タイミング	項目
作業を開始する前に	Yバーレール面の清掃  「Yバーレール面の清掃」 (P. 7)
汚れたとき	グリットローラーの清掃  「グリットローラーの清掃」 (P. 8)
	ピンチローラーの清掃  「ピンチローラーの清掃」 (P. 8)
	カバー(外装)の清掃  「カバー（外装）の清掃」 (P. 6)
刃先が欠けたり切れ味が悪くなってきたとき	カッターの交換  「カッターの交換」 (P. 9)
ピンチローラーに摩耗や落とせない汚れがあるとき	ピンチローラーの交換  「ピンチローラーの交換」 (P. 9)
ペンラインゴムに極端な傷や変形、摩耗、浮きがあり、カット品質が低下したとき	ペンラインゴムの交換  「ペンラインゴムの交換」 (P. 10)
長期間使用しないとき	・ シートをセットしたままにしない。 ・ クランプレバーを奥に倒しておく。  「長期間使用しないときは」 (P. 8)

メンテナンスに必要な道具

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイトにてご覧になれます。 <https://japan.mimaki.com/supply/cutting.html>



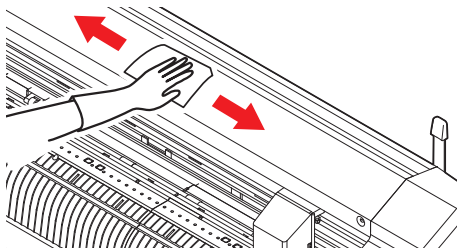
- ・ 子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

3. メンテナンスの方法

カバー（外装）の清掃



- 本機の内部に液体が入らないようにしてください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

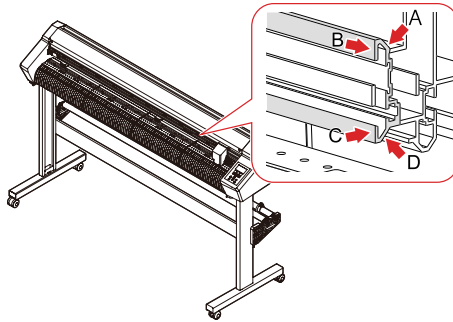


- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

Yバーレール面の清掃

重要!

- 作業を開始する前に必ず下図で示すレール面A～Dの4面を乾いた布で軽く拭き、ゴミやほこりを取り除いてください。レール面が汚れると異音が発生したり、カット品質に影響します。



A：上部レール裏側



B：上部レール側面



C：下部レール側面



D：下部レール裏側



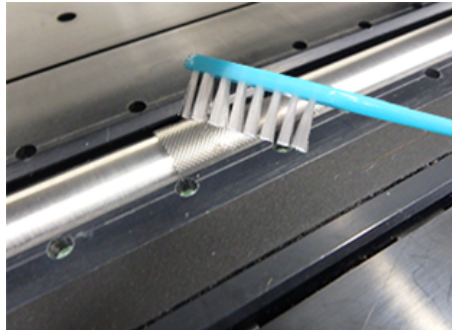
グリットローラーの清掃

お使いいただくうちにシートの紙粉がグリットローラーの突起部に詰まり、メディアがスリップするようになります。

そのようになる前に、目視でゴミが確認できましたら早めに清掃をお願いします。

清掃にはブラシ（歯ブラシなど）をお使いください。

汚れが落ちにくい場合は少量のアルコールをお使いください。



ピンチローラーの清掃

ピンチローラー上のゴミをそのままにしておきますと、ピンチローラーに付着し固まってしまう場合があります。

そのようになる前に、乾いた布やアルコールで湿らせた布で拭くようにしてください。



長期間使用しないときは

1週間以上使用しないときは、以下の内容にしたがって清掃してください。



- プラテン上にシートをセットしたまま放置しないでください。シートが波打つ原因になります。



- 本機を使用しないときはクランプレバーを奥側に倒して、ピンチローラーとグリットローラーを離しておいてください。ピンチローラーを下げたまま長時間放置すると、ピンチローラーが変形する原因になります。ピンチローラーが変形すると、シートを正常にフィードできなくなるおそれがあります。

4. 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお問い合わせください。

消耗品は、弊社ウェブサイトにてご覧いただけます。

<https://japan.mimaki.com/supply/cutting.html>



- ・廃棄されるときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例にしたがって処理してください。



- ・子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

カッターの交換

刃先が欠けたり切れ味が悪くなってきたら、新しいカッターに交換してください。

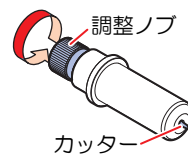


- ・カッターの刃先を触らないでください。ケガをするおそれがあります。
- ・カッティングホルダーは振らないでください。刃先が飛び出すおそれがあります。



- ・廃棄されるときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例にしたがって処理してください。

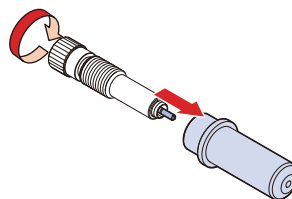
1 調整ノブを回してカッターの刃を最長まで出す。



2 ピンセットなどを使って、カッターを取り出す。

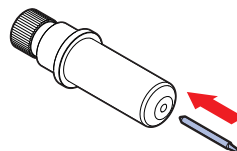


- ・刃が欠けてピンセットで取り出しづらい場合は、黒いカバーを取り外して交換してください。その際、欠けた刃を直接触ってケガをしないように、また、落としてなくさないように注意してください。



3 ピンセットなどを使って、カッターホルダーに新しいカッターを挿し込む。

- ・カッターの向きを確認してから奥に突き当たるまで差し込んでください。



ピンチローラーの交換

ピンチローラーに摩耗や汚れがみられる場合は、新しいピンチローラーに交換してください。

ピンチローラー交換用キット(SPC-0746)には以下の部品が入っています。

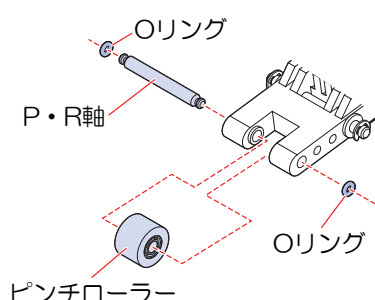
部品名称	数量	備考
ピンチローラー	1	
止めネジ	2	交換時には使用しません。
弓形Eリング	1	交換時には使用しません。
Eリング	1	交換時には使用しません。
Oリング	2	
ワッシャー	2	交換時には使用しません。

● 交換の目安

1日あたり12時間稼働している場合：1か月に1回、交換してください。

24時間フル稼働している場合：2週間に1回、交換してください。

- 1 プロッタの電源を切り、クランプレバーを奥に倒してピンチローラーを上げる。
- 2 ピンチローラーの下に紙を敷く。
 - ・ 部品をすき間に落下させないように紙を敷いておきます。
- 3 Oリングを外して、P・R軸を水平に引き抜き、ピンチローラーを外す。
 - ・ Oリングを無くさないように注意してください。
 - ・ 状態によっては、軸が抜きにくかったり、入れにくい場合があります。
- 4 新しいピンチローラーにP・R軸を入れ、Oリングを取り付ける。

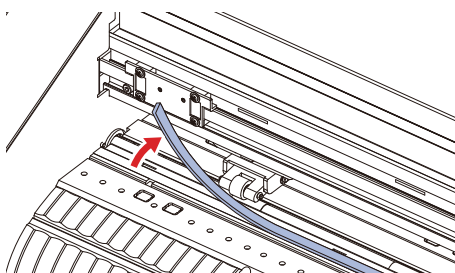


ペンラインゴムの交換

ペンラインゴムの上でペン書きやカッティング、罫引きが行われます。

ペンラインゴムに極端な傷や変形、摩耗、浮きがあり、カット品質が低下したときに交換してください。

- 1 ピンセットなどで、ペンラインゴムの端を剥がす。
 - ・ プラテンの溝に糊が残っている場合は、アルコールで拭き取ってください。



- 2 プラテンの溝に付属の両面テープを貼り付ける。
- 3 両面テープの台紙を剥がす。
- 4 新しいペンラインゴムを両面テープの上に貼り付ける。
 - ・ 平らになるように貼り付けてください。

CG-AR Series お手入れのお願い

2022年2月

発行者	株式会社ミマキエンジニアリング
発行所	株式会社ミマキエンジニアリング 〒389-0512 長野県東御市滋野乙2182-3

